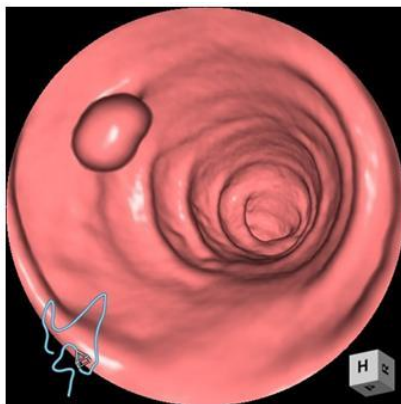


今話題の大腸検査



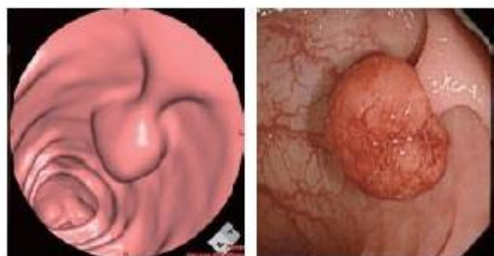
大腸CT検査

「おしりからカメラをいれなくても」
大腸がん検査ができます

大腸CT検査とは？

マルチスライスCTと言われる高精細な画像撮影装置を使用し、大腸の三次元画像をもとに大腸がんやポリープ等を見つける検査です。内視鏡を大腸の中に入れなくても、腸の中を実際に観察したかのように調べることができます。

大腸CT画像（大腸ポリープ症例）



大腸CT

大腸内視鏡

〔メリット〕

- ✓ 下剤の量が少ない
- ✓ 検査の時間が短い
- ✓ 痛みを伴うことが少ない
- ✓ 従来のX線検査に比べ少ない被ばく量で検査可能

〔デメリット〕

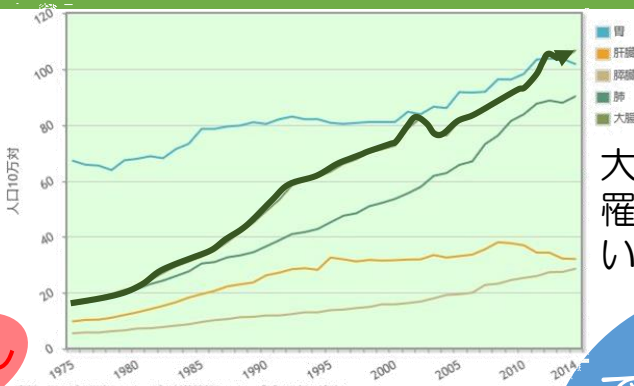
- ✓ ポリープがあった場合その場で切除できない

※内視鏡検査が苦手な方におすすめです

内視鏡検査との比較

	大腸CT検査	大腸内視鏡検査
長所	<ul style="list-style-type: none">✓ 苦痛が少ない✓ 下剤は、内視鏡検査の半分以下です✓ 大腸の全体像や病変の正確な位置が確認できます✓ 体位変換が困難な方や大腸内視鏡検査の実施が困難な方にも行えます	<ul style="list-style-type: none">✓ 直接、内視鏡で観察できるため病変の発見、表面の色調や構造の評価に優れています✓ 病変を認めた場合、良悪性の判断を行う組織採取が可能です
短所	<ul style="list-style-type: none">✓ 病変の色や硬さの情報は得られません✓ 病変の組織採取することはできません✓ 少量ですが医療被ばくがあります（平均4.7mSvの被ばく線量です。1年間に自然に被ばくする線量2.4mSvの2倍となりますが、健康被害が考えられる200mSvに全く及びませんので安全に検査可能です。）	<ul style="list-style-type: none">✓ 腸管内に内視鏡を入れて観察するため苦痛を伴うことがあります✓ 癒着や腸が複雑な走行をしている方は、大腸深部まで内視鏡が入らず観察できない場合があります✓ 腸のヒダ裏や屈曲部での死角となる部位の観察が困難な場合があります✓ 極めてまれですが、内視鏡で腸管を傷つける場合があります

大腸がん



大腸がんによる死亡数罹患数は年々増加しています。

しかし

早期発見・早期治療で

ほぼ100%治ります。



でも大腸がんは
進行するまで
ほとんど自覚症状
がない！！

大腸CT検査の流れ

～① 準備～

- 検査前日に検査食を食べて下剤をかけて検査を実施します。
- 来院後、問診を行い検査着にきがえます。



～② 検査～

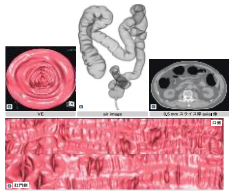
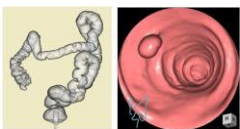
- 肛門から医療用のガスで大腸を拡張させCT装置で撮影を行います。
- 仰向けとうつ伏せの撮影を行います。
- 検査終了後は、ガス抜きを行い、状態を観察し終了となります。
- 検査後は飲食可能です。



検査時間は10分程度です。

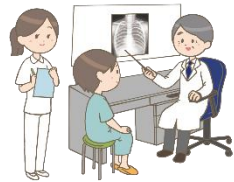
～③ 診断～

- 約2000枚の画像を撮影し大腸解析ソフトによる三次元画像を作成します。



～④ 結果説明～

- 専門医による診断を行いますので結果説明に一週間ほどかかります。



お問い合わせ

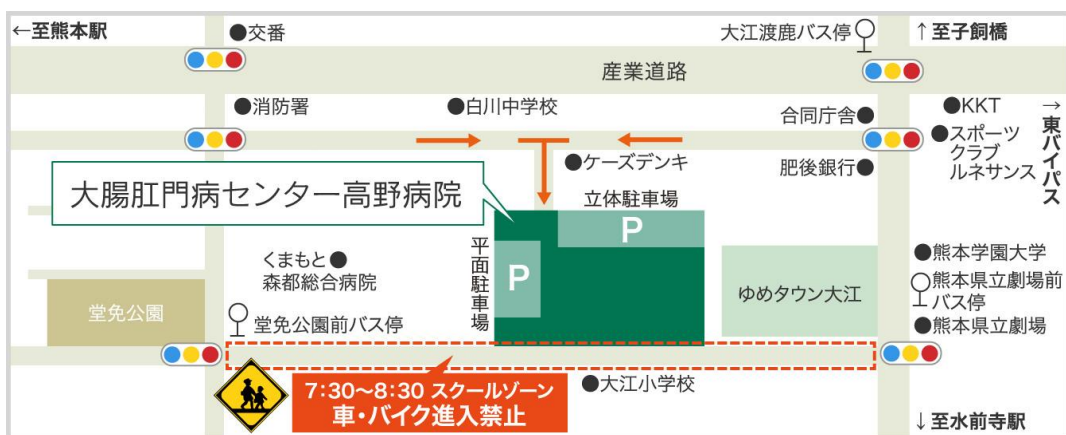
～大腸CT検査にご興味がある方～

専門病院のスタッフによるわかりやすい説明を行いますので
下記の連絡先に、お気軽にお電話ください。

検査の前準備が必要なため一度来院していただき、
医師の診察後検査を予定します。
お早めにご連絡ください。

お問い合わせ先： 096-320-6500

住所： 熊本市中央区大江3丁目2番55号



社会医療法人社団高野会

大腸肛門病センター高野病院

COLOPROCTOLOGY CENTER TAKANO HOSPITAL